

【一 般 常 識】

- 問1 エコドライブとは、駐車中にエンジンを停止するアイドリングストップや急発進・急加速を避けた等速運転などを心がけた省エネルギー運転のことで、エコドライブは単にエネルギー消費の節減や経済メリットを追求するだけでなく、排出ガスの抑制、交通事故防止、経営コスト削減などの効果が期待できる。
- 問2 ガソリンは、天然ガスに比べて二酸化炭素や公害の原因である窒素酸化物が少ししか出ないクリーンなエネルギーである。
- 問3 営業所に備えられているアルコール検知器が故障して使用できない場合は、点呼執行者の目視による酒気帯びの有無の確認を受ければ乗務することができる。
- 問4 運転者は、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に申し出なければならない。
- 問5 公安委員会は、運転免許の取得・運転免許証の更新をしようとする者に対して、一定の病気等に該当するかどうか判断するための質問票を交付することができるが、あくまでも質問票の提出は任意である。
- 問6 熱中症は、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調節機能が破綻するなどして、発症する障害の総称である。めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直及び大量の発汗は、熱中症を疑う症状である。
- 問7 運輸安全マネジメントとは、安全最優先の意識を経営トップから現場の運転者まで浸透させるため、定められた手順、すなわち「Plan(計画)」、「Do(実施)」、「Check(監視)」、「Act(改善)」を継続的に繰り返すことによって、輸送の安全のレベルアップを図ろうとするものである。
- 問8 常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）結果は、検査を実施した医師、保健師等から事業者へ直接通知される。
- 問9 先進安全自動車（ASV）とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車で、ASV技術には衝突被害軽減ブレーキ、ふらつき注意喚起装置、車線逸脱警報装置等がある。
- 問10 「安全性優良事業所」認定の対象となるのは会社単位でなく、事業所単位である。




【運 転 常 識】

問11 大地震が発生したときに、やむを得ず路上に車を置いて避難するときは、エンジンを止め、キーはつけたままとし、窓を閉め、ドアはロックしないこと。

問12 徐行とは、時速20キロ以下の速度で進行することをいう。

問13 赤色の信号の場合は、車両は停止位置を越えて進行してはならないが、赤色に変わったとき交差点に接近していて安全な停止ができない場合はそのまま進行することができる。

問14 酒気帯び運転とは、呼気1リットル中0.15ミリグラム以上、又は血液1ミリリットル中0.3ミリグラム以上のアルコールを体内に保有している状態で車両を運転した場合をいい、呼気1リットルにつき0.15ミリグラム未満の場合は、基準以下なので違反とはならない。

問15  この標識のある場所では、道路を横断して右側にある施設に出入りすることは法令違反になるので、迂回してその施設へ出入りしなければならない。

問16 タイヤの空気圧不足で高速走行したとき、タイヤの接地部に波打ち現象が生じ、セパレーションやコード切れ等が発生することを「スタンディングウェーブ現象」という。

問17 進路前方の横断歩道を横断、又は横断しようとする歩行者がいるときは、横断歩道の手前で一時停止しなければならないが、横断する歩行者がいないことが明らかな場合は、減速せずに通行できる。

問18 車間距離を必要以上に詰めて挑発したりするいわゆる「あおり運転」が社会問題化しているが、相手車を強制的に停車させて運転者等に暴行を加えたり、相手車を傷つけたりは、刑法の暴行罪や器物損壊罪等で処罰できるが、道路交通法には、あおり運転を直接取り締まる罰則規定はない。

問19 車両等に積載している物が道路に転落し、又は飛散したときは、必ず道路管理者に通報しなければならないが、当該道路管理者からの指示があるまでは、転落し、又は飛散した物を勝手に除去してはならない。

問20 自動車を運転中に携帯電話でメール送信するため、メール画像を注視することは道路交通法で禁止されているが、車内に取り付けられたカーナビゲーションの画像を注視することについては、禁止されていない。

【車 両 常 識】

- 問21 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1日1回、運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。
- 問22 スローイン・ファストアウト走行とは、カーブの手前の直線部分で速度を落とし、ゆっくりとカーブを回り終わる少し手前から徐々に加速する走り方をいう。
- 問23 自動車は排気騒音やタイヤ騒音などの走行騒音を出すほか、道路周辺に振動を与えるが、自動車の出す騒音や振動は、自動車の速度が遅いほど、また自動車の重量が軽いほど大きくなる。
- 問24 後輪が横滑りをしたときは、まずアクセルをゆるめ、後輪が横滑りした方向と同じ方向にハンドルを切って車の向きを立て直すようにする。
- 問25 自動車の空気入ゴムタイヤに関し、接地部の滑り止めの溝は、タイヤの接地部の全幅のいずれの部分（ラグ型タイヤの一部部分を除く。）においても1.6ミリメートル以上の深さがなければならない。
- 問26 貨物自動車の車体の後面には、最大積載量のほか車両総重量についても表示しなければならない。
- 問27 遠心力の大きさは、カーブの半径が小さいほど大きくなり、速度が2倍になれば遠心力は2倍となる。
- 問28 スピードリミッターとは、アクセルを踏んでも時速100km以上は出せなくする速度抑制装置のことであり、速度が時速100kmを超えると自動的にエンジンへの燃料供給が抑制され、それ以上加速できない仕組みとなっている。
- 問29 車両安定性制御装置とは、走行中の自動車の急なハンドル操作や滑りやすい路面の走行などを原因とした横滑りの状況に応じて、エンジン出力やブレーキ力を制御し、横滑りや転覆を防止するための装置のことをいう。
- 問30 走行中にアクセルペダルから足をはなすと、エンジンの回転がおそくなり、逆に、車輪がエンジンをまわそうとする状態になる。このときエンジンは摩擦や圧縮の抵抗により車輪を制動する働きをする。これをエンジnbrakeという。